

報道関係者各位

— 川崎市市民ミュージアム 8月の特集上映 —

ロングランヒットの最新アニメーションから貴重フィルムまで

## 《映画で見る平和への願い》

～ 1948-49年に撮影された広島の貴重な記録映像をはじめ、話題の長編アニメーション『この世界の片隅に』など幅広い世代に届けたい全10作品を一挙上映！～

川崎市市民ミュージアムの映像ホールでは、2017年8月5日(土)から20日(日)までの土日祝日、「映画で見る平和への願い」と題し、広島の復興を捉えた幻の記録映像から、日本中で話題の長編アニメーション、戦前につくられた影絵アニメーションなどを一挙公開。《広島をめぐる映画たち》《知られざる戦争の影》という2つのテーマのもと、戦争と平和について描かれた全10作品を特集します。

1948-49年に広島で撮影され、その後未公開となっていた『平和記念都市ひろしま』。戦後の広島の復興を伝えようとした“幻の記録映像”は、2005年に当館で発見された非常に貴重なフィルムで、現在は当館と広島市公文書館のみで所蔵されています。今回は、日本で初めて原爆を取り上げたといわれる劇映画『原爆の子』との併映で上映します。

また、広島・呉に嫁いだ一人の女性の日常を通じ、戦前・戦中・戦後の市民生活の変化を細密に生き生きと描き出し、2016年11月の劇場公開からロングランを記録中のアニメーション『この世界の片隅に』も3日間にわたり上映。さらに、小中学生向けのプログラムとして、戦前に制作された貴重な影絵アニメーション『煙突屋ペロー』と文部科学省選定映画『時計は生きていた』など、夏休み時期に親子で観ていただきたい作品もラインナップしました。

平和都市宣言をしている川崎市。映画を通じ、今ある日常の大切さを改めて考えてみませんか。

### 「映画で見る平和への願い」開催概要

【日程】8月5日(土)・6日(日)・11日(金・祝)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)

※計7日間 ※各日11:30～と14:30～の2回上映(入れ替え制)

【会場】川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール(定員270名)

【料金】1プログラムにつき 一般600円、大学・高校生・65歳以上500円、小中学生400円

※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

【申込】当日会場にて観覧券を販売(先着順/自由席) ※前売り券はありません。



『この世界の片隅に』©この史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会



『原爆の子』



『硫黄島』

上映作品（全 10 作品／2 本立て上映あり）

※上映スケジュールは別添のチラシをご覧ください。

### ～広島をめぐる映画たち～

・『この世界の片隅に』（2016／カラー／DCP／126 分／監督：片渕須直）

★ロングランヒット中の話題のアニメーション。声優：のん 他

・『平和記念都市ひろしま』（1948～49／モノクロ／35mm／20 分／監督：秋元憲）

★戦後まもなく撮影された幻の記録映像。広島の復興を捉えた貴重なフィルム。当館所蔵。

・『原爆の子』（1952／モノクロ／35mm／99 分／監督：新藤兼人）

★日本で初めて原爆を取り上げた貴重な劇映画。

・『生きていてよかった』（1956／モノクロ／16mm／48 分／監督：亀井文夫）

・『千羽鶴』（1958／モノクロ／16mm／67 分／監督：木村荘十二）

・『河 あの裏切りが重く』（1967／モノクロ／35mm／103 分／監督：森弘太）

### ～知られざる戦争の影～

・『硫黄島』（1959／モノクロ／35mm／88 分／監督：宇野重吉）

・『最後の女たち』（1954／モノクロ／35mm／83 分／監督：楠田清）

・『煙突屋ペロー』（1930/1987 復元サウンド版／モノクロ／23 分／監督：田中喜次）

★戦前に制作された貴重な影絵アニメーション。

・『時計は生きていた』（1973／カラー＋モノクロ／16mm／63 分／監督：神山征二郎）

★文部科学省選定映画。小中学生向け。

## <川崎市市民ミュージアム 映像ホール>

2016 年 4 月に 4K 対応のデジタルシネマプロジェクター、シネマサーバー、7.1ch サラウンドシステムを導入。デジタル映像の上映環境の整備に加えて、スクリーンも新たに張り替え、従来のフィルム上映作品についてもより美しく迫力のある劇場鑑賞をお楽しみいただけるようリニューアルしました。縦幅 3 m の大スクリーンで名画をご堪能ください。



■定員：270 名（各回入れ替え制）

■料金：一般 600 円、大学・高校生・65 歳以上 500 円、小中学生 400 円

※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

■チケット販売時間（前売り券はありません）

朝の販売時間は 10：30～（12：30 まで）※午前・午後の 2 回分とも販売。

昼の販売時間は 13：30～（15：30 まで）※午後 1 回分を販売。

\*上記料金は特集上映により異なる場合がございます。事前にお問い合わせください。

## <川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。



■住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2（等々力緑地内）

■開館時間：9:30～17:00（入館は 16:30 まで）

■休館日

月曜日（休日の場合は開館）、祝日の翌日（土日の場合は開館）、年末年始

■観覧料

企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。

\*障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

\*20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

・武蔵小杉駅（JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線）よりバスで約 10 分

・武蔵溝ノ口駅（JR 南武線）・溝ノ口駅（東急田園都市線・大井町線）よりバスで約 20 分

・JR 川崎駅よりバスで約 40 分

【お問い合わせ、取材のお申込み、画像使用に関するご要望は下記までご連絡ください】

川崎市市民ミュージアム（指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体）営業・広報担当／鋒山（ほこやま）・坂下・石澤

TEL: 044-754-4500

FAX: 044-754-4533

MAIL: pr\_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/>